第５学年３組　社会科学習指導案

令和７年１１月１９日（水）第５校時
活動場所　　５年３組教室
児 童 数　　３０　名
指 導 者　　教諭　　波平　晶子

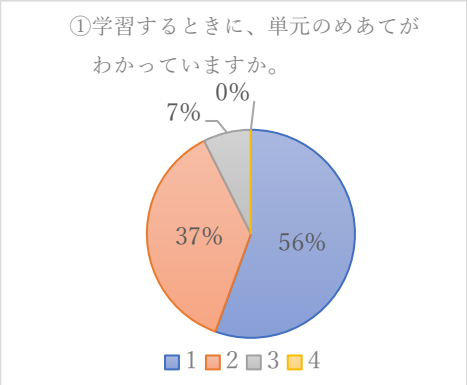
１　小単元名　　自動車をつくる工業

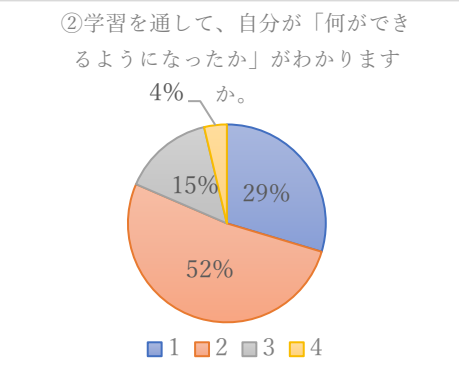
２　児童の実態と本単元の意図

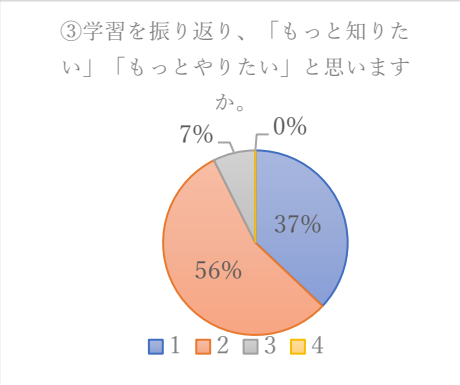
(1) 児童観

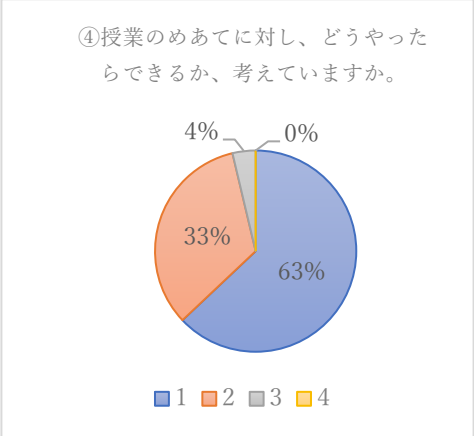
本学級の児童は、前単元「わたしたちの生活と食料生産」において、農業や水産業に関わる仕事をしている人々が、自然条件を生かして生産性や品質を高めるために努力をしたり、輸送方法や販売方法を工夫したりして、わが国の食料生産を支えていることを学んできた。また、後継者問題や食の嗜好の変化、資源の管理など、日本の第一次産業が抱える様々な問題を捉え、それらに対し人々がどう向き合い、課題解決に取り組んでいるかを調べ、持続可能な農業や水産業のあり方について自分なりに考える活動を行ってきた。単元テストでは、知識・技能、思考力・判断力・表現力ともに平均約 9 割の点数をとることができていた一方で、単元の終末に行った、学習したことや学習することを通して考えたことをまとめた新聞作りでは、要点を押さえながらまとめることができる児童は多かったが、そこから学びを繋げて考えたり、自分の考えをもったりすることができない児童もいた。これは、児童によって表現力に差があることや各学習活動に費やす時間が不足していたと考えられる。

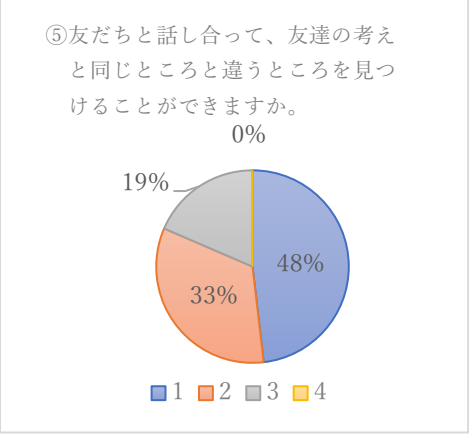
また、９月に実施した校内研修の学習アンケートの結果は、以下のような結果となった。

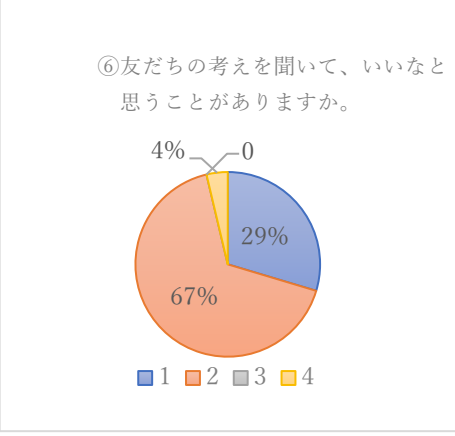


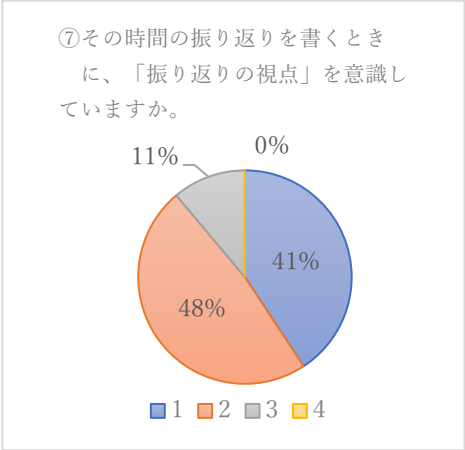


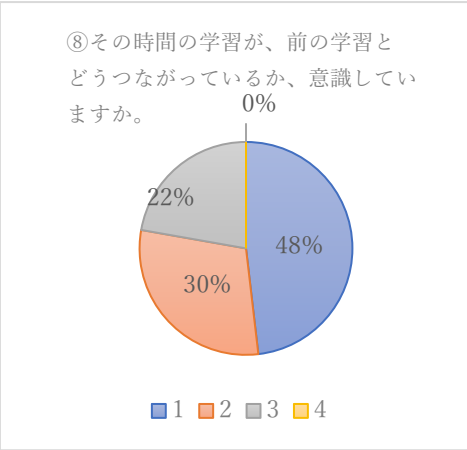


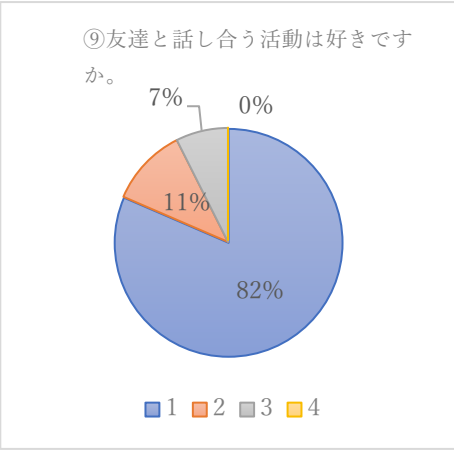


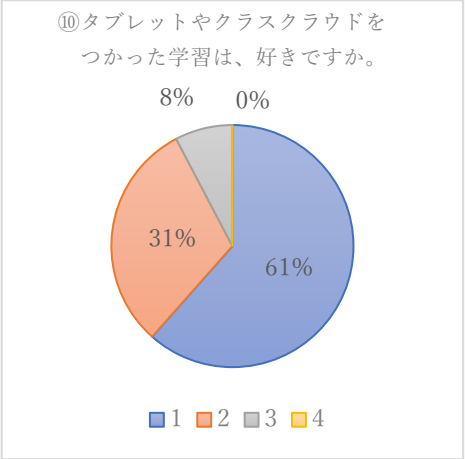


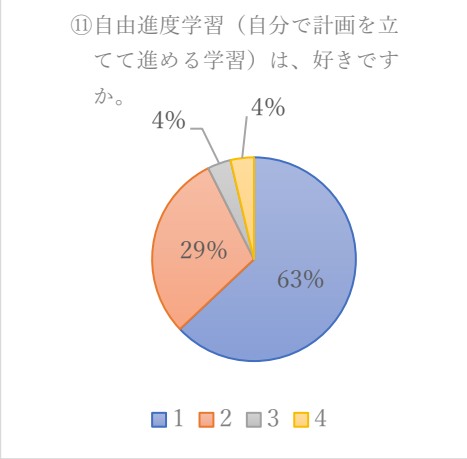












④「授業のめあてに対し、どうやったらできるか、考えていますか。」に対し、肯定的な回答をした児童は 96％であった。また、①「学習するときに、単元のめあてがわかっていますか。」、③「学習を振り返り、『もっと知りたい』『もっとやりたい』と思いますか。」に対し、肯定的な回答をした児童は 93％であった。これらの結果から、単元のめあてに向かって自分の考えをもち、次の学習への意欲を高めていることが明らかになった。

また、⑨「友達と話し合う活動は好きですか。」に対し 93％の児童が肯定的な回答をした。その理由として、「色々な意見を聞けるから。」「自分にはない新しい視点を知れるから。」「話し合うことで理解ができるから。」などが挙げられた。これらのことから、話し合うことによって自分の考えを広げたり、深めたりしていることがわかる。

さらに、⑧「その時間の学習が、前の学習とどうつながっているか、意識していますか。」に対し、22％の児童が「どちらかというと意識していない」と回答していた。ほとんどの児童が前の学習とのつながりを意識している一方で、つながりをあまり意識せずに１時間の学習で完結してしまっている児童も一定数いることが明らかとなった。

５年生の １ 学期から始めた自由進度学習については、⑪「自由進度学習は好きですか。」に対し 92％の児童が肯定的な回答をしている。その理由として「自分のペースで進めることができる。」「わからないところを深堀できる。」などの理由が挙げられた。その一方で「自分がやっていることが合っているか不安。」「時間をかけすぎてしまって、周りよりも進度が遅れてしまう。」など、自由進度学習に対して不安を抱いている児童も少数いることが明らかとなった。

(2) 教材観

本小単元では、大単元「わたしたちの生活と工業生産」の中に位置付き、学習指導要領の内容（３）「我が国の工業生産」に関する内容のうち、ア（イ）「工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解すること」、ア（エ）「地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること」、及びイ（イ）「製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること」を扱うものである。

本小単元で取り扱う「自動車生産」は、わが国の工業分野の大きな部分を占めるような工業である。また、世界にも通用する自動車メーカーもあり、日本の自動車が世界各地で走っていることも少なくない。その生産工程や工場相互の協力関係、輸送の仕方、自動車の開発の様子など、日本のものづくりを学ぶ上で非常に有意義であると考える。加えて、自動車は子どもにとっても身近な工業製品であり、誰もがその便利さを理解することができる。昨今では、自動車を取り巻く環境は大きく変わり、脱炭素化や電気自動車の開発、様々なニーズや社会からの要請に応える自動車の開発など、これからの社会に大きく関わるものであり、持続可能な社会を形成する一員を育成する上でも意義深いと考える。

(3) 指導観

本学級の児童の実態から、すべての児童が自分に合った学習方法や学習進度で、主体的に日本の自動車工業について深く学習することができるように、単元のゴールを「日本の自動車づくり宣伝部になって、日本の自動車づくりの秘密（よさ）を広めよう！」と設定し、単元内自由進度学習を取り入れながら指導していく。

具体的には、第一次（第 1・２時）の小単元の導入を一斉指導で行い、日本中核市幸福度ランキングの結果やグーグルアースの愛知県豊田市の様子から、豊田市は工業が盛んであり、特に自動車工場が多く分布していることに気づかせる。また、事前に取り組んだ昔の自動車に対する保護者へのインタビュー結果をまとめたものや、自分たちが考えてきた「夢の自動車」について話し合わせたりすることで、たくさんの自動車をお客さんの注文に合わせて作ることでどんどん便利になっているという事実に気づかせ、どのようにこの変化が起こっているのか問題意識をもたせる。このような活動を通して生じた疑問を出し合い、学級全体で単元を貫く学習問題や学習計画を作っていく。第二次（第３～８時）は、ワークシートを使いながら自分で立てた学習計画をもとにその時間の課題や目標の達成に向けて学習を行う。校内研修のアンケート結果から、前の学習とのつながりをあまり意識せずに学習を行っている児童が数名いたことから、複数の時間を見通すことができるシートを活用して振り返りを行い、その時間の成果や課題、それがなぜできたのかできなかったのか、次時の学習にどう生かすかを考え、次の時間へと繋げていけるようにする。また、調べ学習後に行う日本の自動車づくりの秘密（よさ）の宣伝の仕方（まとめ方）も、CM・新聞・リーフレット作り、「トヨタ　夢のクルマアートコンテスト」など複数設定し、自分に合った方法でまとめられるようにする。第三次（第 9 時）は、一斉指導で作成した成果物を友達と共有する。また、この時間までに保護者にも成果物を紹介し、評価をしてもらう。このように、自己評価するだけでなく他者からの評価も得ることで、小単元の学習内容がどの程度解決・達成できたのかを明らかにし、自分の立てた学習計画はどうだったのか、その結果どのように成長したのかを感じることができるような単元全体の振り返りを行う。

自由進度学習についても、「自分のペースで進められる」という良さを感じている児童が多い一方で、「自分だけでやっていると合っているのか不安」などの心配な声もあったため、見ればその課題の学習内容は一通り理解できるような各課題の学習内容を扱うミニレッスン動画を作成し、児童が学習を進める中でいつでも見ることができるようにする。また、学習内容が逸れないように、各課題について調べ終わった後、自分が学習した内容が正しいかどうか評価することができるように、ワークシートに知識・技能の評価規準を記載し、自己評価、他己評価ができるようにする。

また、自動車生産の仕事の工夫や努力を並べて捉えるだけでなく、これらの工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて、自動車生産に関わる人々の働きを考えさせたい。そのために、進度はそれぞれの児童によって異なるが、関係を「調べる」「整理する」「捉える」という過程を意識させながら指導していきたい。「調べる」過程では、自動車生産に関わる人々は消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するような様々な工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解できるように、製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などの事象について資料から読み取る活動を行う。教科書の資料に加えて、NHK for school やデジタル教科書の動画資料、トヨタ自動車コーポレートや愛三工業株式会社等の動画資料を活用することで、資料活用の技能が高められるようにする。さらに、クラスクラウド上に「情報共有掲示板」というフォルダを作り、共同編集ページには調べる中で出てきた疑問を書き込んだり、友達の学びになると思った資料や情報を個別のページに書き溜めクラス全員に共有したりし、これらを調べる資料の一つとして活用できるようにする。「整理する」過程では、学習問題を解決するために児童が考えた各課題に対してまとめる。「捉える」過程では、学習問題に対する答えについて同じ進度の友達と対話することを通して、その後（まとめる際）の自分の考えを深めるきっかけとしたい。

３　単元の目標

我が国の自動車生産について、製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで自動車生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することを通して、自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追求・解決しようとする態度を養う。

４　研究の視点

（１）　研究主題

「主体的に学び、互いのよさを認め、高め合う児童生徒の育成」
～自ら考え、広がる　高まる　深まる　授業づくり～

（２）　目指す児童像

〇主体的に学び、互いのよさを認め、高め合うことができる子

（３）　研究仮説

【仮説１】
児童一人一人が見通しをもって取り組み、達成感を味わえるような単元を意図的に構成していくことで、「やりたい」意欲が向上するだろう。

手立て①　学習計画の工夫

導入の際にわかったこと（豊田市には自動車工場が多く分布している、たくさんの自動車をお客さんの注文に合わせてすばやく作っている、日本の自動車は世界でもたくさん使われている等）から出てきた疑問をもとに単元を貫く学習問題を立てる。学習問題や単元のゴールに向けた学習計画をクラスで考え、個人でも計画の見通しをもつことができるようにする。児童自らが立てた計画で学習を進めることで「やりたい」意欲が向上し、達成感が味わえると考える。また、本単元では自由進度学習を行う。自分の進度や興味に合わせて学習を深めることで、やりたい意欲が向上すると考える。

手立て②　単元のゴールの工夫

児童が、主体的に日本の自動車工業について深く学習することができるように、単元のゴールを「自動車づくり宣伝部になって、日本の自動車づくりの秘密（よさ）を広めよう！」と題し、まとめ方を CM や新聞、リーフレット、トヨタ自動車が主催している「トヨタ夢のクルマアートコンテスト」などと複数設定し、自分に合った方法でまとめさせる。」

【仮説２】
自分の考えをもち他者と共有することで、対話的な学びに繋がり、自分の考えが広がり、高まり、深まることができるであろう。

手立て③　評価の工夫

児童同士で各課題に対するまとめの評価を自己評価だけでなく、友達にも評価をしてもらう。このように自分のまとめを友達と共有することで、内容や表現について見直したり、よりよいまとめになるようにしたりできるようにする。

手立て④「深めるタイム」

調べ学習が終わり、情報を整理した後に、単元を貫く学習問題に対する答えについて友達と話し合う「深めるタイム」をとる。友達と話し合うことで、学習したことをまとめる際にもともともっていた自分の考えがより深まるきっかけとする。

５　単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①自動車の製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、自動車生産に関わる人々の工夫や努力を理解している。	①自動車の製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、問いを見いだし、自動車生産に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。	①自動車生産について、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
②調べたことを図表や文などにまとめ、自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解している。	②自動車生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて、自動車生産に関わる人々の働きを考え、適切に表現している。	

６　指導と評価の計画（全９時間扱い）

次	時間	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価 ☆研究とのかかわり
第 １ 次	１ ・ ２	①中核市幸福度ランキングやグーグルアース、事前に取り組んだ保護者インタビューや自分たちが考える「夢の自動車」から、自動車づくりに関する疑問を出し合う。 ②出てきた疑問を班で整理し、全体で共有しながら学習問題と学習計画を立てる。	・機械工業がさかんである。 ・輸送用機械の割合が高く、自動車づくりがさかんである。 ・年間約７００万台の自動車を生産している。 ・愛知県豊田市には自動車工場がたくさんある。 ・１台の自動車に使われている部品は約３万個ある。	・日本の工業生産では、自動車工業がさかんであることに気づかせる。 ・グーグルアースから、愛知県豊田市には、自動車工場が多く分布していることに気づかせる。 ・事前に取り組んできた保護者へのインタビュー結果を提示し、自分たちが考えた「夢の自動車」について話し合わせる。 ・たくさんの自動車をお客さんの注文に合わせてつくっているという事実に気づかせ、問題意識をもたせる。 ・世界でも日本の自動車は人気であることがわかる資料を提示する。 ・クラスクラウドの共同編集で、自動車づくりに関する疑問を出させ、そこから学習問題と学習計画を立て、学習の見通しをもつことができるようにする。 ☆手立て①－学習計画の工夫 【思判表①】 自動車の製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して問いを見いだしている。 〈クラスクラウド・発言〉

第 2 次	3 ～ 8 （本時第7時）	≪自由進度学習の進め方≫ ① 前回の振り返りを読んでから、クラスクラウドに今日の課題と目標、計画を書く。 ② 進捗状況がわかるように黒板にネームプレートを貼る。 ③ 計画を実行する。 （例） ・ミニレッスン動画を見る ・調べ学習 ・友達と情報共有 ・「今日のまとめ」を書く ・自己チェック、友達チェック、先生チェック （※次の課題に進められる児童は、次に進む。） ④みんなの疑問に答えたり、まとめに書いたものに追加で学習問題の成果物作成に使えそうなキーワードがあれば、メモをしたりする。 ⑤振り返りをする。	・目標と計画を立てる際は、前回の振り返りを生かし、どの順番で、誰と、何を使って、それぞれの活動を何分でやるのかを考えさせ、ノートに書かせる。 ・クラスクラウドに今日の課題と計画をあげたり、黒板に進捗状況がわかるネームプレートを貼ったりすることで、友達がどのように学習するのかを見ることができるようにし、学習する際に困ったときの相談相手を選んだり、一緒に学習をする人を決めたりする時の参考にできるようにする。 ・授業の途中で自分が立てた計画通りに進んでいるかどうか、調べている内容が学習課題や目標から逸れていないかを確認する計画振り返りタイムを何度かとり、必要であれば修正させながら調整させる。 ・クラスクラウドに情報共有掲示板のフォルダを作り、調べていく過程でためになると思った情報をクラス全員で共有できるようにしておき、情報収集手段の一つとなるようにする。 ・調べている途中で上がった疑問も共有できるように、クラスクラウドの共同編集機能を活用させる。 ・まとめを書く際、時間があれば、学習問題のまとめや成果物作成に使えそうなキーワードには、赤丸をつけさせる。 ☆手立て③－評価の工夫 ・振り返りには、学習内容に対する振返りと、自分で立てた今日の計画に対する振り返りを書かせ、次の授業に生かすことができるようにする。

		②組み立て工場の工程について調べる。	・自動車づくりは、プレス、溶接、塗装、組み立て、検査という流れで行われている。 ・ロボットや機械を使い、すばやくたくさんの自動車をつくっている。 ・指示ビラを見ながら作業をすることで、注文に合わせた自動車をつくっている。 ・必要な時に必要な部品を注文し、無駄な部品がないようにている。	・各工程で多くの作業をしていることに気づかせる。 ・手作業だけでなく産業用ロボットなどを活用したオートメーションなど大規模工場の生産システムによって、「すばやく」「正確に」「効率よく」作業が進められていることに気づかせる。 【知技①】 必要な情報を集め、読み取り、組み立て工場の工程について理解している。 〈ワークシート/ノート・発言〉
		③関連工場の工程、組み立て工場と関連工場のつながりについて調べる。	・組み立て工場からの注文に合わせてシートを作っている。 ・組み立て工場で組み立てる車種の順番通りに並べ、トラックで運んでいる。 ・組み立て工場と関連工場は一つの工場のように協力して自動車をつくっている。 ・どこか一つの関連工場が生産できなくなると、自動車がつくれなくなってしまうこともある。	・関連工場では、組み立て工場からの注文に合わせ納期（時間）を意識して生産していることに気づかせる。 ・シート工場の下には、シートに使われる部品をつくる工場があることに着目させ、関連工場の役割について考えさせる。 【知技①】 必要な情報を集め読み取り、関連工場の様子について理解している。〈ワークシート/ノート・発言〉
		④完成した自動車の輸送の仕方について調べる。	・完成した自動車は、キャリアカーで国内の販売店や港に運ばれる。 ・海外に船で運ばれる自動車もある。 ・自動車の価格には輸送費なども含まれる。 ・現地生産でつくられる自動車もある。 ・現地生産をすることで、輸送する費用や時間を抑えたり、その国の消費者のくらしや好みに合わせた自動車をつくったりすることができる。	・自動車の輸送方法や価格に着目させる。 ・グラフから、自動車の現地生産が増加していることや、海外の販売数の割合が大きいことに気づかせる。 【知技①】 必要な情報を集め、読み取り、完成した自動車を世界中に届ける運輸の仕方について理解している。 〈ワークシート/ノート・発言〉

		⑤現在、開発されている自動車の技術について調べる。	・自動車は時代とともに変化してきている。 ・安全性や環境への配慮などが求められる。 ・燃料電池自動車 ・電気自動車 ・福祉車両 ・自動運転技術 ・衝突安全ボディ ・エアバッグ ・消費者の願いに合わせた自動車の技術開発がすすめられてきている。 ・ある自動車会社では、新しいくらしの可能性を実証するまちをつくっている。	・様々な立場から消費者の願いを考えさせる。 ・消費者の願いと自動車の技術開発が結びついていることに気づかせる。 ・現在も、未来も社会の要請に合わせた工業製品の開発を目指し、工夫や努力をしていることに気づかせる。 【知技①】 自動車の技術開発は、消費者の願いに合わせて行われているということを理解している。 〈ワークシート/ノート・発言〉
		⑥これまで学習したことを振り返り、なぜ、たくさんの工夫や努力をしているのか話し合う。 ⑦学習問題に対するまとめをする。 ⑧日本の自動車づくりの秘密（よさ）を自分が選んだ方法（CM・新聞・リーフレット・「トヨタ夢のクルマアートコンテスト」）でまとめる。	・組み立て工場は、すばやく、正確に、効率よく自動車をつくっている。 ・関連工場では、組み立て工場の人々と協力して自動車を生産している。 ・完成した自動車は、国内外に輸送される。また、現地生産も行っている。 ・自動車会社は、消費者の需要や社会に対応して、より良い製品を生み出している。 ・たくさんの工夫や努力は、消費者の需要や社会の変化に対応するためである。 ・調べて分かった工夫や努力の中から消費者に伝えたいものを選ぶ。	・整理したことをもとに、クラスクラウドに学習問題に対するまとめをさせる。 ・学習問題のまとめをする際に、成果物作成に使うことができるような言葉を入れておくようにする。 ・自分の考えを友達と共有し、学習問題に対する答えについて友達と話し合う「深めるタイム」を行い、より考えを深められるようにする。 ・「深めるタイム」で話し合ったことをもとに、再度自分の考えを見つめ直し、考えを修正したり、情報を付け加えたりする。 ・ここまで終わったら、学習カードやノートを提出させ、教師のチェックを受けさせる。 ☆手立て④－「深めるタイム」 ・児童一人一人が大切だと感じた工夫や努力を取り上げさせ、その意味や価値が伝わるようにＣＭにまとめさせる。 ・成果物作成が早く終わった児童は、他の方法でまとめたり、「自動車以外の工業について調べ、同じように成果物作成をしたりするなど、工業についてより深く学ぶことができるようにする。 ☆手立て②－単元のゴールの工夫

				【知技②】 　自動車生産に関わる人々は消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして自動車生産を支えていることを理解している。 〈クラスクラウド・発言・成果物〉 【思判表②】 　自動車生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて自動車生産に関わる人々の働きを考え、適切に表現している。〈クラスクラウド・成果物〉
第 3 次	9	⑨学習の成果物を紹介し、小単元の振り返りを行う。	・友達と紹介し合う。	【態度①】 　学習を振り返り、価値付けたり、今後学習に生かそうとしたりしている。また、友達の学習成果の良いところやアドバイスを見つけ、伝えようとしている。 〈評価シート・発言〉

８　本時の学習指導（７／９時）

（１）目標

・必要な情報を集め、読み取り、関連工場の様子や組み立て工場と関連工場のつながりについて理解することができる。
・必要な情報を集め、読み取り、完成した自動車を世界中に届ける運輸や現地生産などの外国とのつながりについて理解することができる。
・自動車の技術開発は、消費者の願いに合わせて行われているということを理解することができる。
・自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解することができる。
・自動車生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて、自動車生産に関わる人々の働きを考え、適切に表現することができる。

（２）評価規準

・必要な情報を集め、読み取り、関連工場の様子や組み立て工場と関連工場のつながりについて理解している。【知識・技能】
・必要な情報を集め、読み取り、完成した自動車を世界中に届ける運輸や現地生産などの外国とのつながりについて理解している。【知識・技能】
・自動車の技術開発は、消費者の願いに合わせて行われているということを理解している。【知識・技能】
・自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解している。【知識・技能】
・自動車生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて、自動車生産に関わる人々の働きを考え、適切に表現している。【思考・判断・表現】
・教科書やミニレッスン動画を見て、課題の解決に向けて調べようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

（3）展開

学習活動	学習内容	・指導上の留意点　評価 ☆研究とのかかわり	時間
1 前時までの学習を振り返り、本時の課題・目標・計画を立て、黒板にネームプレートを貼る。		・目標と計画を立てる際は、前回の振り返りを生かし、どの順番で、誰と、何を使って、それぞれの活動を何分でやるのかを考えさせ、ノートに書かせる。 ・学習の進捗状況がわかるように、黒板にネームプレートを貼らせる。 ☆手立て①　学習計画の工夫	5
学習問題 日本の自動車づくりには、どんな秘密（よさ）があるのだろうか。 ゴール 自動車づくり宣伝部になって、日本の自動車づくりの秘密（よさ）を広めよう！			
課題 ・組み立て工場で働く人々は、どのように自動車をつくっているのだろうか。 ・関連工場で働く人々は、どのようにして自動車の部品をつくっているのだろうか。 ・完成した自動車はどのようにして消費者にとどけられるのだろうか。 ・新しい自動車は、どのように生み出されているのだろうか。 ・なぜ、たくさんの工夫や努力をしているのか話し合う。 ・学習問題に対するまとめをしよう。 ・日本の自動車づくりの秘密（よさ）を○○にまとめよう。			
2 計画を実行する。 ・これまで学習したことを振り返り、なぜ、たくさんの工夫や努力をしているのか話し合う。 ・日本の自動車づくりの秘密（よさ）を自分の選んだ方法で成果物（CM・新聞・リーフレット・「トヨタ　夢のクルマアートコンテスト」）にまとめる。	①関連工場の工程、組み立て工場と関連工場のつながり ②完成した自動車の輸送の仕方 ③現在、開発されている自動車の技術	・授業の途中で自分が立てた計画通りに進んでいるかどうか、調べている内容が学習課題や目標から逸れていないかを確認する計画振り返りタイムを何度かとり、必要であれば修正させながら調整させる。 ・クラスクラウドに情報共有掲示板のフォルダを作り、調べていく過程でためになると思った情報をクラス全員で共有できるようにしておき、情報収集手段の一つとなるようにする。 ・調べている途中で上がった疑問も共有できるように、クラスクラウドの共同編集機能を活用させる。 ・まとめを書く際、学習問題のまとめやCM作りに使えそうなキーワードには、赤丸をつけさせる。 ・時間が余ったら、本時で学んだことと前時までに学んだことを整理させる。 ☆手立て③　評価の工夫 ☆手立て④　「深めるタイム」	35
【知識・技能】 〈評価方法〉ワークシート／ノート・発言 必要な情報を集め、読み取り、完成した自動車を世界中に届ける運輸の仕方について理解している。 (B評価も踏まえ、現地生産などの外国とのつながりについても理解している。) 〈「努力を要する」状況（C）への手立て〉 ミニレッスン動画を参考にさせる。		【知識・技能】 〈評価方法〉ワークシート／ノート・発言 必要な情報を集め、読み取り、関連工場の様子について理解している〈ノート・発言〉 (B評価も踏まえ、組み立て工場と関連工場のつながりについても自分の言葉でまとめている児童をA評価とする。) 〈「努力を要する」状況（C）への手立て〉 ミニレッスン動画を参考にさせる。	

【知識・技能】
〈評価方法〉ワークシート／ノート・発言
必要な情報を集め、読み取り、組み立て工場の工程について理解している。〈ノート・発言〉
(B 評価も踏まえその工夫についても自分の言葉でまとめている児童を A 評価とする。)
〈「努力を要する」状況（C）への手立て〉
ミニレッスン動画を参考にさせる。

【知識・技能】
〈評価方法〉ワークシート・ノート・発言
自動車の技術開発は、消費者の願いに合わせて行われているということを理解している。
(B 評価も踏まえ、今後どのようなニーズや社会の変化が出てくるか予想することができている。)
〈「努力を要する」状況（C）への手立て〉
ミニレッスン動画を参考にさせる。

【知識・技能】
〈評価方法〉クラスクラウド・成果物
自動車生産に関わる人々は、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解している。
(B 評価も踏まえ、消費者の需要や社会の変化に対応していることを関連付けて理解している。)
〈「努力を要する」状況（C）への手立て〉
ミニレッスン動画や、これまでにまとめたワークシートを参考にさせる。

【思考・判断・表現】
〈評価方法〉クラスクラウド・成果物・発言
自動車生産の仕事の工夫や努力や、自動車生産に関わる人々の働きを考え、適切に表現している。
(B 評価も踏まえ、消費者の需要や社会の変化を関連付けて表現している。)
〈「努力を要する」状況（C）への手立て〉
ミニレッスン動画や、これまでにまとめたワークシートを参考にさせる。

【主体的に学習に取り組む態度】
〈評価方法〉クラスクラウド・成果物・発言
教科書やミニレッスン動画を見て、課題の解決に向けて調べようとしている。
(B 評価も踏まえ、消費者（自動車を使う人）の願いや社会に求められていること（※SDG s 等）を関連付けて、まとめようとしている。)
〈「努力を要する」状況（C）への手立て〉
ミニレッスン動画や、これまでにまとめたワークシートを参考にさせる。

３振り返りを行う。		・振り返りには、学習内容に対する振り返りと、自分で立てた今日の計画に対する振り返りを書かせ、次の授業に生かすことができるようにする。	5

９　板書計画

自動車をつくる工業

学習問題
日本の自動車づくりには、どのような秘密（よさ）があるのだろうか。

社会「自動車をつくる工業」

学習の仕方	学習内容	資料	進度

社会「自動車をつくる工業」
自由進度学習　進め方
（1）「今日取り組む課題」と「今日の計画」を書く。
（2）黒板にマグネットを貼る
（3）今日の計画をもとに、学習を進める。

ワークシートの主体の評価規準

A	B	C

１０　資料

自動車をつくる工業①　P14～15　自動車を組み立てる工場

名前（　　）

0　言葉の確認

○（　　）…一定の速さで進むラインの上で、作業を分たんすることで、正確に自動車が組み立てられる。

1　調べよう！

〈組み立て工場で働く人々は、どのように自動車をつくっているのでしょうか。〉

	評価規準	A	B	C
①組み立て工場で働く人々は、どのように自動車をつくっているのだろうか。	組み立て工場の工程について理解している。	組み立て工場の工程や工夫について理解している。	組み立て工場の工程について理解している。	組み立て工場の工程について理解していない。

〈組み立て工場で働く人々は、どのように自動車をつくっているのか、まとめましょう。〉

自己評価	友達の評価	名前	先生評価
A ・ B ・ C	A ・ B ・ C		A ・ B ・ C

自動車をつくる工業②　P16～17　自動車の部品をつくる工場

名前（　　）

0　言葉の確認

○（　　）…組み立て工場から注文を受けて部品をつくる工場と、その工場からさらに細かい部品の注文を受けて仕事をする工場がある。

1　調べよう！

〈関連工場で働く人々は、どのようにして自動車の部品を作っているのでしょうか。〉

	評価規準	A	B	C
②関連工場の人々は、どのようにして自動車の部品を作っているのだろうか。	関連工場の様子について理解している。	関連工場の様子や組み立て工場と関連工場とのつながりについて理解している。	関連工場の様子について理解している。	関連工場の様子について理解していない。

〈関連工場で働く人々は、どのようにして自動車の部品を作っているのか、まとめましょう。〉

自己評価	友達の評価	名前	先生評価
A ・ B ・ C	A ・ B ・ C		A ・ B ・ C

自動車をつくる工業③　P18～19　　世界とつながる自動車

名前（　　）

0　言葉の確認

○（　　）…二輪車や自動車、小型トラックを運ぶ車のこと。

○（　　）…大型のものだと、5,000 台以上の車を運ぶことができる。

○（　　）…自動車会社は、世界のいろいろな国に工場をつくり、現地で生産、はん売をしている。輸出するだけでなく、現地の国々と協力しながら自動車づくりを進めることが求められている。

1　調べよう！

〈完成した自動車は、どのようにして消費者にとどけられるのでしょうか。〉

	評価規準	A	B	C
③完成した自動車は、どのようにして消費者にとどけられるのか。	完成した自動車を世界中に届ける運輸の仕方について理解している。	完成した自動車を世界中に届ける運輸や現地生産などの外国とのつながりについて理解している。	完成した自動車を世界中に届ける運輸の仕方について理解している。	完成した自動車を世界中に届ける運輸の仕方について理解していない。

〈完成した自動車は、どのようにして消費者にとどけられるのか、まとめましょう。〉

自己評価	友達の評価	名前	先生評価
A ・ B ・ C	A ・ B ・ C		A ・ B ・ C

自動車をつくる工業④　P20～21　　人々の願いに合わせた自動車開発

名前（　　）

0　言葉の確認

○（　　）…地球温暖化の原因とされている温室効果ガスの排出量をゼロにしていく社会のこと。

○（　　）…水素と酸素から電気をつくり、水だけを排出するので、環境にとてもやさしい。

○（　　）…電気でモーターを回すため、走行時に二酸化炭素が出ない。エネルギー費も安くすむ。

○（　　）…自動車自体が走る、曲がる、止まるを操作し、周辺のきけんをさけながら走行する技術が進められている。

1　調べよう！

〈新しい自動車は、どのように生み出されているのでしょうか。〉

	評価規準	A	B	C
④新しい自動車は、どのように生み出されているのか。	新しい自動車が、どのように生み出されているのか理解している。	新しい自動車は、どのように生み出されているのか、また、そのためにどのような工夫がされているのか理解している。	新しい自動車が、どのように生み出されているのか理解している。	新しい自動車が、どのように生み出されているのか理解していない。

〈新しい自動車は、どのように生み出されているか、まとめましょう。〉

自己評価	友達の評価	名前	先生評価
A ・ B ・ C	A ・ B ・ C		A ・ B ・ C